

第54回 定期大会資料

OCU社会貢献事業について

～活動の経緯と継続性のある事業推進に向けて～

《今定期大会における事業内容》

- 寄贈先 社会福祉法人「中心会」(えびな南高齢者施設)
- 寄贈品 自走式車椅子 跳ね上げ式アームサポート付 スイングアウト式フット・レッグサポート付 2台

OCUでは、社会的・公益的な取り組みが求められている労働組合としての役割を発揮するためにも、社会貢献事業に関する継続的な取り組みを推進してきました。

第44回 定期大会(2009年8月)では、終戦直後に海外からの引き揚げ虚弱母子を受け入れるための「中心健康荘」の発足から70年以上の歴史を持ち、小田急沿線で介護福祉施設や児童養護施設の運営などを行っている社会福祉法人「中心会」を寄贈先とし、OCU結成40周年記念事業の一環として、「車椅子の寄贈」を実施しました。その後も、「社会貢献活動基金(※1)」から拠出する形で、引き続き「中心会」を寄贈先として、施設の運営に必要な備品を寄贈してきました。

そして、第46回 定期大会(2011年8月)および第50回 定期大会(2015年8月)においては、2006年より「リングプルから車椅子へ!」といった目標に向け取り組んできた「リングプル回収(※2)」が車椅子との交換量に達したことから、「中心会」を寄贈先とした「リングプル回収による車椅子の寄贈」を実施することが出来ました。

また、組合員の社会貢献活動への「気づき」の機会づくりといった観点から、「まちづくり(※3)」に関する取り組みを進めてきたOCUとして、地域貢献活動に積極的かつ継続的に取り組んでいる「FC町田ゼルビアとのスポンサーシップ契約(※4)」や、観客動員にも寄与すべく実施したホームゲーム応援ツアーを通じ、同チームへの支援を行ってきました。

上述の活動を始め、社会貢献活動に伴う費用については「社会貢献活動基金」から拠出しています。同基金は、毎年12月を強化期間として位置付け、各組合で展開している「愛の募金活動」における寄付金集計額の20%を繰り入れており、UAゼンセン「ボランタス基金(※5)」の会費としても、毎年、繰入額の20%を納入しています。

今後も上述した活動を中心に、積極的な社会貢献活動に取り組んでいきます。組合員の皆さんはもちろん、加盟組合各社からのご理解、ご協力に対し、改めて御礼を申し上げるとともに、継続性のある活動に繋げるためにも、引き続きご協力をお願い申し上げます。

今定期大会においても、これまでの経緯も勘案し、小田急沿線価値の向上の一助といった観点からも、社会福祉法人「中心会」を寄贈先とし、「えびな南高齢者施設」で必要とされる「自走式車椅子 跳ね上げ式アームサポート付 スイングアウト式フット・レッグサポート付 2台」を寄贈します。なお、「中心会」に関する詳細については、別冊資料をご参照下さい。

※1:社会貢献活動基金

社会貢献活動に伴う拠出のための特別基金として、「環境美化、環境保全活動」「ボランティア活動(高齢者・障がい者支援、自然災害救援、安全・防犯対策、子育て支援)」「まちづくり、地域活性化活動」「前述の支援のための拠出(寄付行為)」「上部団体が行う社会貢献活動に対する拠出」「その他特に必要と認めた活動および拠出活動」のいずれかに該当し、常任執行委員会が承認した場合に、拠出することが出来ます。

※2:リングプル回収

2006年11月より、新たな社会貢献活動として始めた「リングプル回収」については、2001年4月に北海道野幌商店街の商店主らが結成した「リングプル再生ネットワーク(略名:プルネット)」を通じて、取り組んでいます。組合員の皆さんからお持ちいただいたリングプルについては、各組合書記局での回収を始め、加盟組合各社のご協力もいただきながら、店員食堂・休憩室などでの回収を行っています。

※3:まちづくり

地域が元気でなければ流通サービス産業の健全な発展が望めないばかりか、私たちの雇用・労働条件の維持・向上もままならないといった認識に基づき、それぞれの地域の実情にあった“まち(生活空間)”を創造するために、OCUが加盟していた旧日本サービス・流通労働組合連合(JSD)が2002年より取り組んでいた活動で、2012年に結成されたUAゼンセンにおいても、その活動は継承されています。

※4:FC町田ゼルビアとのスポンサーシップ契約

1989年の発足以来、同チームが町田市を中心とした地域貢献活動に積極的に取り組んでいる中で、加盟組合各社の事業所が所在する町田市周辺の活性化にも寄与すべく、財政面での支援に加え、組合員の生活時間の充実に向けた機会提供や、地域貢献、社会貢献活動の「きっかけづくり」としての観点からも、2008年より契約しています。

※5:ボランタス基金

UAゼンセンのボランタス活動(社会貢献活動)のため、特別会計として管理している基金で、加盟組合が納入している会費が主な資金となっています。ボランタス活動は「組合員の理解と共感」「参加型の活動」「継続性」といった原則に基づいた活動を展開しており、具体的な活動についても、OCU社会貢献活動基金運営規則における適用(拠出を行う場合の対象)と多くの部分で合致しています。また、活動にあたっては、ボランタス委員会における審議を経て、中央執行委員会で議決されており、厳格かつ民主的な対応が行われています。

以上